野村いくよ 市政報告だより

No.37
2025.9.1

6月定例月議会一般質問

すべては子どもたちの今・未来のために…

例年ならば、8月の初めに発行している野村いくよ市政ニュースですが、今年は参議院選挙で頭も体も回らなく、とにかく参議院選挙が終わってから、ということで一か月遅れの発行となりました。どうぞお許しください。

今年の夏は例年よりさらに暑い！です。参議院選挙もかなり熱量が高くなりました。候補者も立憲民主党にふさわしい人であり、交野市出身枚方在住という身近に感じる人でした。

本部から小沢一郎さんを始め、多くの役員が応援に大阪に入られました。野田代表は2回です。司会を務める機会も多くいただき、国会議員の演説を聴く機会が増え「勝てる可能性がある」という期待感を持ちました。

しかし、立憲が伸びるという選挙前の予想は大きく外れ、大阪では、相変わらず維新が2議席を獲得、参政党のように訳わからない政党が乱立し、リベラルな党も共産党も票を伸ばすことができませんでした。連合との関係では共闘できると思っていた国民民主党でしたが、最近ではどこに向かおうとしているかわからず、「日本人ファースト」を訴える参政党と同様に大きく躍進しました。SNSを駆使する若い層の投票で、投票率はあがりましたが…何をどう考えたらよいのか、熱量が高かっただけに、終わってからは凹んでいました。

終盤の国会議員の応援演説は当初の「食料品消費税0％」「ガソリンの暫定税率廃止」についてより「人権尊重」「多様性」「共生社会」の大切さの訴えが多かったです。候補者は弁護士だけあって、日本国憲法は押し付けられたものではなく、国民が大切に育ててきた憲法であること、特に第13条の個人の尊重、幸福追求権について強く訴えていました。

「多様性を誇りに、分かち合うことを力に、支え合うことを安心に」という旧立憲民主党の言葉でありますが、大切にしていき、平和と民主主義をあきらめず、選挙中シスターフッドを強く感じることもできたので、仲間と共に歩みを進めるしかないと改めて決意いたします。まだ暑さも続くと思われます。ご自愛ください。今後の立憲民主党大阪に対してのご意見等いただけると嬉しいです。

非核平和行進（7月25日）

国際女性デー街宣（3月3日）

参院選街頭演説（6月28日）

号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU
2025　初秋
号　外
立憲民主編集部
〒100−0014
東京都千代田区永田町1-11-1　三宅坂ビル7F
電話03-3595-9988
https://cdp-japan.jp/

●発行者：枚方市議会議員（立憲民主党）野村いくよ　　自宅：〒573-0084　枚方市香里ヶ丘６丁目10-2-101　e-mail：194-nomura@mvf.biglobe.ne.jp

野村いくよの 活動日誌（抜粋）

おもな活動を記載しています
Facebookもやっています
野村いくよ公式ホームページ　URL:nomura-ikuyo.com/

4 月

4(金)　枚方市立五常小学校入学式
5(土)　この町のかたち研究会例会　府議、貝塚市議、高槻市議からの報告
五常校区コミュニティ協議会　桜まつり　妙見山配水池煙突山
7(月)　枚方市立第四中学校入学式
19(土)　第５回立憲アカデミー大阪「SNSについて」　森山代表へのインタビュー動画をつくりました。
20(日)　2025年度五常校区コミュニティ協議会総会　今年度も顧問を拝命
21(月)　おおさかヒューマンライツ自治体議員の会学習会「西成の部落解放運動の歴史と西成隣保館ゆ～とあいについて」とフィールドワーク
24(木)　枚方・交野地区更生保護女性会総会・学習会
26(土)　北河内地域メーデー　親子で遊べるチャンバラ合戦
北河内地区教組総会・春季学習会　大阪教組書記長講演
30(水)　枚方市支援教育充実審議会　傍聴

枚方京田辺環境施設組合議会（２月18日）

5 月

1(木)　連合大阪メーデー　大阪城公園
13(火)　枚方市孤独・孤立対策推進本部研修会
15(木)　枚方日中友好協会定期総会
16(金)　開会議会～20日今年度の役割がそれぞれ決定　私は、引き続き会派代表と議会運営委員、市民福祉常任委員会に所属
17(土)　第6回立憲アカデミー大阪「地方分権」　元四条畷市長を迎えて、とりくまれたことを伺いました。その後、橋口れいさんと小川淳也幹事長を迎えて、京橋連絡道において青空対話集会を行いました。さすが！小川幹事長、丁寧な応答でした。橋口れいさんも応えるべき所はしっかりと応えていました。
24(土)　大阪教組定期大会・団結パーティー
25(日)　枚方市退職教職員の会(かささぎ会)総会
27(火)~**28**(水)　府連ジェンダー平等推進委員会　国会訪問・視察研修
27日：東京都内のインクルーシブ公園訪問、夜は、若年女性支援団体を訪問し、新宿アウトリーチに見守り隊として同行しました。
28日：厚生労働委員会の傍聴　「どうするつもり？介護保険」院内集会に参加。その後は、NPO法人あなたのいばしょ主催「孤独・孤立対策」イベントに参加。内容の濃い２日間でした。
29(木)　しおん会親睦研修会　東海道57次
56番目のひらかた宿 京街道を歩こう！　ボランティアガイドさんのお話をちゃんと聞いたのは初めて。

５月28日国会訪問

6 月

3(火)　市民福祉委員協議会　高齢者施策のとりくみ実績と今後のとりくみについて質問しました。
7(土)　この町のかたち研究会例会「公共交通問題について」
8(日)　6.8もうやめよう あぶない原発！大集会 IN おおさか
うつぼ公園　集会後は、息子の住まいが近くなので、孫の瑠生くんに会いに行きました。初対面！でしたが、私の腕の中でずっと寝ていました。
13(金)~**27**(金)　６月定例月議会
14(土)　憲法カフェ　西谷文和さん「ウクライナ戦争とパレスチナ紛争のゆくえ～日本は今…」　ウクライナ、パレスチナから万博まで多くの資料とともに中身の濃い講演でした。
20(金)　一般質問　　いつも傍聴に来ていただき、本当にありがとうございます。
22(日)　社会福祉法人であい共生舎　理事会　引き続き理事に選任されました。
連合大阪政策・政治フォーラム＆政策実現総決起集会　政治学習会「野党は何を思い、何を実現すべきか」講師：秦正樹さん（大阪経済大学 情報社会学部 准教授）　野党を研究対象されているのって珍しいですね。内容は興味深いものでした。
27(金)　枚方市議会スポーツ議連総会
28(土)　サタデイ行動　橋口れいさん、奥野議員とともにT-site前⇒くずは駅前、途中スーパー前でも演説。ボランティア参加ありがとうございました！午後は、野田代表を迎えてヨドバシカメラ前で国会議員と橋口れいさんの街頭演説会。猛暑の夏、参議院選挙に向けても熱くなっていました。
29(日)　青空対話集会　富国生命ビル前　山田府議とともに橋口れいさんが応えます。的確な回答さすがです。万博パビリオンの下請け企業不払いの声が届きました。なかなか難しい内容ですが、国会議員にも届けました。

7 月

3(木)　第27回参議院議員通常選挙出発式　この日から19日まで、毎日選挙事務所に。青空対話集会を含む街頭演説に、橋口れいさんの応援に本部から多くの役員級の国会議員が大阪に来られました。しかし立憲民主党は選ばれませんでした。私たちの力不足は明らかです。立憲民主党大阪府連としての総括をきっちりと行わなければなりません。
5(土)　大阪教組教育研究集会全体会　日本原水爆被害者団体協議会代表委員　箕牧智之さんによる講演「戦争と被爆と私の人生」「被爆者が生きているうちに核兵器をなくしてください」と訴えられました。
8(火)　17:00～18:00　青空対話集会　枚方市駅
18:00～19:00　演説会　旧メセナ
12(土)　比例代表日政連議員みずおか俊一の街宣カーに乗って、枚方市内を大阪教組委員長の運転で走りました。みずおか俊一は当選！ご支援本当にありがとうございました。
25(金)　非核平和行進　枚方市役所～新香里　暑い毎日で例年より参加者が少なかったですが、「核武装を必要」とするような政党が大きく躍進した今だからこそ、私たちは非核三原則を改めて確認しなければならないし、唯一の戦争被爆国日本として核兵器禁止条約への批准を強く求めます。「核と人類は共存できません」
27(日)　映画「オレンジ・ランプ」上映会　旧メセナ　若年性アルツハイマー型認知症を扱った内容で、当事者の思いを尊重することの大切さを学びました。
30(水)　枚方市支援教育充実審議会　傍聴

8 月

4(月)~**6**(水)　原水禁広島大会
25(月)　立憲民主党近畿女性議員ネットワーク会議視察研修
尼崎市子どもの育ち支援センター「いくしあ」
27(水)　市民福祉委員協議会
29(金)　各派代表者会議・議会運営委員会

この原稿は、７月末に書いているので、８月掲載のものは予定です。

３月定例月議会（予算委員会も含む）　２月25日～３月28日

初日の２月25日は、市長の市政運営方針が述べられます。その運営方針について、各派代表者が質問します。

一般質問ならば一問一答方式も選べますが、代表質問は一括質問一括答弁で、３回まで質疑ができます。ただし、３回目の答弁に対しては、４回目がないので要望等述べられず、実質２回目までの質疑となり、３回目は要望・意見となります。

2025年度の市政運営方針について、連合市民の会からは、私が代表質問をしました。

多岐にわたって、市長の方針が述べられ、行う事業も述べられています。それを実行するための予算も、予算委員会で審議されました。

他の会派は事業の一つ一つについて質問するところが多いのですが、わが会派としては、以前から大きく市長がどのようにまちづくりを進めたいのか、を中心に質問しています。各事業については、予算委員会で質問できるので。

「２つの最重点施策」について述べられたので、この２点について取り上げます。

１　「子どもの人権と最善の利益の尊重」とは？

「子育て世帯をターゲットにした施策のさらなる拡充の中で、子育て施策の推進に当たっては、子どもの人権と最善の利益の尊重が優先である」と述べていたが、

Q　市長の考える子どもの人権と最善の利益の尊重とは？

A　子どもを守る条例においても、３月策定（予定）の子ども・若者総合計画 においても、すべての子どもの人権、最善の利益が尊重されるまちづくりの推進を施策目標として位置付けている。

！　次の一般質問では具体的に聞こうと思う。

２　市駅周辺再整備について

Q　市長の述べるまちづくりの思いは、全員協議会でも話されたようににぎわう施設の誘致であるように聞こえ、具体的なまちづくりのビジョンが見られなかった。全員協議会の意見をどう受け止めたのか。

A　新庁舎の整備を含めた４・５街区のまちづくりを止めることなく進めるためにも、議会の意見を踏まえながら引き続き理解が得られるよう努め、今議会において位置条例を可決してもらうようとりくんでいく。

⇨位置条例を追加議案として提案したが、上程する前に、前回の結果と変わらない状況であることを認識し、議案を取り下げた。

！　おかしな話だと思いませんか。そのまま上程され否決されたら、市駅周辺再整備の基本計画の見直しをしなければならなかったはずなのに……。結局市駅周辺再整備は停滞しているだけです。それでいいわけないでしょ！（この原稿を書いている７月末において、９月定例月議会に再度「庁舎の位置条例案」を提案するうわさを聞いていますが……）

６月定例月議会　６月13日～27日

６月20日７点の一般質問をしました。
そのうち３点について取り上げます。

１　「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に則ったとりくみについて

Q　新たな女性支援法では、女性の人権を保障する女性福祉の構築をめざし、当事者中心主義と民間団体との協働による多様な支援の包括的な提供という理念が明記されている。「女性の困難を生み出すのは個人の自己責任ではなく、社会の在り方の問題である」ということである。本市のとりくみは？

A　男女共生フロア・ウィルに、同法で定める女性相談支援員として人権政策課の職員を配置し、困難女性の相談窓口となり、必要な支援機関につないでいる。2026年（令和８年）度を始期とする第４次枚方市男女共同参画計画については、同法に基づく市町村計画を新たに位置づけて策定する予定。

！　若年層の女性の性搾取等の問題をアウトリーチの同行で目の当たりにしました。

要望：女性支援法の周知を確実におこなうこと。

２　就学通知について

Q　小学校入学予定者には毎年１月下旬頃、中学校入学予定者には毎年11月下旬頃に就学通知書を送付していることを確認し、支援学校等への就学を決定している保護者には、地域の学校名が記載された就学通知書を送付しないことがあるのか。

A　教育委員会と保護者との就学相談を経て、最終就学先を支援学校に決定された場合は、就学通知書は大阪府より送付される。過去に「支援学校等への就学先は教育委員会も把握しているにもかかわらず、就学通知書が大阪府と枚方市から届くのか」といった保護者の意見も踏まえ、現在は、本市教育委員会から送付していない。

！　要望：就学通知は、地域の学校との最初の接点であり、地域の子どもとしての認識を共有する機会でもある。たとえ就学先が異なっても「地域の子どもは地域で育てる」という観点から、すべての対象児童・生徒に通知を送付するべき。

３　学校における合理的配慮について

Q　医療的ケアを必要とする児童・生徒にとって、学校看護師は、安心して学校生活をすごせるための重要な存在であるが、看護師が確保されていない現状がある。学校で教育を受けることは権利であり、そういった環境整備を行うことは合理的配慮である。人材確保にどうとりくむのか。

A　医療的ケアを実施している関係機関との連携を図り、さらなる雇用に努める。

Q　教育長に、改めて「ともに学び、ともに育つ教育」についての考えを聞く。

A　支援教育のめざすところは「ともに学び、ともに育つ」教育の推進である。

「ともに学び、ともに育つ」の理念を大切にし、一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別最適な学びと学びの場の充実の実現に向けて邁進する。

意見書について

「大阪府立枚方支援学校の過大、過密及び教室不足の解消を図るため、新たな知的障害支援学校建設を求める」意見書が提案されました。

私は「ともに学び、ともに育つ」教育を推進することを強く要望しています。他会派はすべて賛同しましたが、連合市民の会としては「賛同しない」を選択。会派の皆さんに感謝です。

理由は述べなければならないと思い、討論をいたしました。

賛成・反対の両討論があれば、議会報に掲載されるのですが、賛成討論はなかったので、掲載されませんでした。

討　論

ただいま提出されました意見書第57号 「大阪府立枚方支援学校の過大、過密及び教室不足の解消を図るため、新たな知的障害支援学校建設を求める意見書」に対しまして、連合市民の会を代表して討論を行います。

枚方市は、これまで、障害の有無にかかわらず、すべての児童生徒がともに育ち合うよう「ともに学び、ともに育つ」支援教育の充実に努めてきました。また、大阪府の支援教育方針も「ともに学び、ともに育つ」教育を基本理念としてきました。

先日の一般質問において教育長は「支援教育のめざすところは『ともに学び、ともに育つ』教育の推進である」と述べられました。

障害のあるなしに関係なく、社会の縮図と言われる学校で、また地域で、出会うことによってお互いを知り、子どもたちはつながり、保護者もつながり、地域の人たちとも つながり、そして、認め合い、助け合い、支え合う、また尊重し合う関係が生まれるのです。

大阪府立枚方支援学校の過密・教室不足等の実情、就学時に様々な思いの中で支援学校に進まれた事情も理解するところではあります。

本来、地域の学校が合理的配慮を確実におこない、障害のあるこどもたちをはじめすべてのこどもたちにとって安心な学びの場及び遊びの場であり居場所でなければならないのです。「『ともに学び、ともに育つ』理念を大切にし、一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別最適な学びと学びの場の充実の実現に向けて邁進してまいります」という教育長の先日の言葉に期待をし、地域の子どもは地域の学校で学び育ち、地域でともに生きるということを大切にしたいという強い思いで、本意見書には賛同できないことを申し上げて討論といたします。

決議第４号全会一致

国際社会における武力紛争の平和的解決を求める決議

イスラエルとイランの交戦が続く中、米国がイスラエルによるイラン攻撃に加わり核施設３か所を空爆し、それに対してイランが報復するなど、中東における軍事衝突の応酬が続いています。そうした中、米国のドナルド・トランプ大統領は、イランの核施設への空爆を広島と長崎への原爆投下になぞらえ「戦争を終わらせた」と発言したとされています。

非核平和都市を宣言し、核兵器の廃絶及び国際社会の平和と安全を願う枚方市の市議会として、原爆投下を正当化するような発言は決して看過、容認することはできず、人道的立場からも、国際社会における武力紛争の平和的解決を強く求めます。

以上、決議します。

令和７年６月27日

インクルーシブ公園を視察しました！

５月27日、東京都世田谷区の砧（きぬた）公園を視察しました。インクルーシブ公園とは、障害の有無や年齢、性別、国籍などに関係なく、みんなが楽しく遊べる公園のことです。

ご意見・ご質問がございましたら　e-mail：194-nomura@mvf.biglobe.ne.jp（野村）までお寄せください。